



## アンサンブル神戸

## 第44回定期演奏会

— ウィーン楽派 若き日々 of 作品を集めて —

J.ハイドン 交響曲 第6番 ニ長調 Hob.1:6 「朝」

J.Haydn Symphonie Nr.6 D dur Hob.1:6 [Le matin]

W.A.モーツァルト ヴァイオリン協奏曲 第3番 ト長調 K.216

W.A.Mozart Violinkonzert Nr.3 G dur K.216

F.シューベルト 交響曲 第5番 変ロ長調 D.485

F.Schubert Symphonie Nr.5 B dur D.485

【ヴァイオリン】  
南部 れいな  
Reina Nambu【コンサートマスター】  
ベンジャミン・ツィアフォーゲル  
Benjamin Ziervogel【指揮】  
矢野 正浩  
Tadahiro Yano

オーケストラ：アンサンブル神戸

指揮：矢野 正浩

ヴァイオリン：南部 れいな

コンサートマスター：ベンジャミン・ツィアフォーゲル

2016.3.18 [Fri]

19:00 開演 [18:30 開場]

神戸新聞 松方ホール

前売券 ¥3,000 当日券 ¥3,500 松方ホール友の会会員 ¥2,500 学生 ¥1,500 [全自由席]

※料金はすべて税込みです。

(前売のみ 松方ホールチケットオフィスにて取り扱い)

(前売のみ) ※未就学児のご入場はお断りします。

ご予約  
お問合せ

アンサンブル神戸事務局 078-242-5258

松方ホールチケットオフィス 078-362-7191

チケット  
発売所

◎松方ホール チケットオフィス 078-362-7191(10:00~17:30 日曜・祝日は休業)

◎ローソンチケット…………… 0570-084-005(Lコード:55837)

◎神戸国際会館プレイガイド 078-230-3300

主催：公益社団法人 アンサンブル神戸 神戸新聞社 (一財)神戸新聞文化財団

後援：神戸市 神戸市教育委員会 (公財)神戸市民文化振興財団

# アンサンブル神戸 第44回定期演奏会

— ウィーン楽派 若き日々作品を集めて —



## 南部 れいな【ヴァイオリン】

Reina Nambu

アメリカで生まれ、9歳でヴァイオリンを始める。ニューヨークのマネス音楽院を卒業。

大学時代からカーネギーホール、リンカーンセンターのアリスターホールとエイヴリーフィッシャーホール、スタインウェイホールなど数々の有名ホールに出演。これまでに若林暢、ルイス・キャプラン、ミシェル・キム、藤原浜雄の各氏に師事。大学を卒業後、日本に帰国し現在、クラシックを基盤とし、ミュージカル、ジャズ、J-Popアーティストのライブサポートなど幅広く活動している。

2013年からは女性フォーマルウェアメーカーの東京イギンのプロモーションアーティストとして、全国でミニコンサートを開く。2015年春には、大阪のフェスティバルホールにて大阪フィルハーモニー交響楽団、東京芸術劇場にて東京フィルハーモニー交響楽団と共演し、チャイコフスキーヴァイオリン協奏曲で日本デビューを果たした。

公式HP:<http://www.reina-nambu.com>



## ベンジャミン・ツィアフォーゲル【コンサートマスター】

Benjamin Ziervogel

1983年オーストリア、クラゲンフルト生まれ。6歳でヴァイオリンのレッスンを始める。1992年、ケルンテン州立音楽院にてブライアン・フィンレイソンに師事。1996年から2002年の間、アニマ弦楽四重奏団の第二ヴァイオリン奏者として非常に大きな成功をおさめ、国内外の様々なコンクールを制覇した。1997年「プリマ・ラ・ムジカ」オーストリア国内コンクール優勝、2000年「グラドゥス・アド・バルナッスム音楽コンクール」優勝、ウィーンフィルハーモニー管弦楽団特別賞、ペーレンライター特別賞、2000年よりベンジャミン、シュミットと共にベルン芸術大学(スイス)にて学んだ。2000年～2005年 ケルンテンチェンバーアカデミーコンサートマスター。2002年「プリマ・ラ・ムジカ」国内コンクール(ヴァイオリンソロ)優勝。

2002年よりアシエス四重奏団第一ヴァイオリン奏者。2003年 一位受賞に加え、国内コンクール(室内楽/四重奏団)にてアッピアーノ奨励賞。2004年よりスロヴェニア共和国スロヴェニア放送交響楽団コンサートマスター。2006年「グラドゥス・アド・バルナッスム音楽コンクール」(室内楽/四重奏団)優勝、2006年モーツァルト賞、オーストリアクラシック賞受賞。2007年 オーストリア銀行による「2007年アーティスト賞」オーストリア放送協会による「2007年芸術家賞」。2008年 ムジカ・ユウェントゥティスコンクール優勝。2010年 ヨハネス・ブラームスコンクールにて「特別賞」「聴衆賞」受賞。2010年に至るまで、マドリッド室内楽国際研究所にて四重奏をギュンター・ビヒラー教授(アルバン・ベルク弦楽四重奏団)の元で学ぶ。使用楽器は「オーストリア国立銀行」より貸与されている1727年イタリアクレモナ製。



## 矢野 正浩【指揮】

Tadahiro Yano

1987年 第57回読売新人演奏会に出演。ザルツブルグ モーツァルト音楽大学を経て、1990年 旧西ドイツ国立トロッシゲン音楽大学、大学院を最高点で修了。同校在学中よりユングスフィルハーモニシェスオーケストラ・シュトゥットガルトメンバーとしてドイツ各地で演奏、録音を行う。1992年 フィンランド、ヨエンスウ市立管弦楽団に首席フルート奏者として入団、同時にシベリウスアカデミー音楽大学クオーペオ校専任講師に就任。

1996年より室内オーケストラ「アンサンブル神戸」を主宰し定期演奏会は44回を数える。2001年より神戸21世紀混声合唱団を組織し指揮者となる。演奏家として関西を中心にリサイタルや室内楽演奏会を開催している。

1998年第2回松方ホール音楽賞大賞受賞。2007年1月 NHK FM 名曲リサイタルに出演。平成20年度神戸市文化奨励賞受賞。

## アンサンブル神戸【オーケストラ】

Ensemble Kobe

阪神淡路大震災時に仮設住宅などへの慰問演奏をきっかけに、関西の若手音楽家により発足した室内オーケストラ。1996年9月にオープンした神戸新聞松方ホールを本拠地として年間約10回の自主公演を行い、約5回の依頼公演に当たっている。2000年には姉妹団体「神戸21世紀混声合唱団」を発足させ、宗教音楽にも積極的に取り組んでいる。創立時から元ベルリンフィル第一コンサートマスター、レオン・シュビラー氏を首席コンサートマスターに招き、アンサンブルの緻密さや演奏能力の向上に努めてきた。2013年5月、一般社団法人として法人化し、2015年12月内閣府より公益社団法人の認可を受けて、関西を代表するオーケストラとして地域文化の振興、発展に貢献するため活動を続けている。

2013年8月、第2回「KOBE ART AWARD(コウベアートアワード)」優秀賞 受賞。

